

令和 7 年 第 2 回 定例 市議会

行 政 報 告

北 海 道 惠 庭 市

第2回定例会が開催されるに当たりまして、第1回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

第6期恵庭市総合
計画の策定状況に
ついて

はじめに、第6期恵庭市総合計画の策定状況について申し上げます。本年3月7日、総合計画審議会に第6期総合計画の基本構想策定に
関し諮問し、第5期総合計画の検証及び第6期総合計画基本目標（案）
についてご審議いただくとともに、議会においても総合計画特別委員会
において、ご審議いただいているところであります。

また、本年4月には、市民意見を総合計画へ反映するため、まちづくり
市民意識調査を実施したところであります。

今後につきましては、審議会及び議会特別委員会における審議をはじ
め、アンケート調査結果をもとに、成案化に向け取り組んで参ります。

令和6年度ふるさ
と納税寄附につい
て

次に、令和6年度ふるさと納税寄附について申し上げます。令和6年度の寄附実績につきましては、前年度から、寄附金額では、約2億9,600万円増の26億3,100万円、寄附件数では、約1万8,300件増の12万9,800件となり、寄附金額、件数ともに過去最高となったところであります。

増加した主な要因としましては、有名俳優を起用したデジタル広告の強化をはじめ、大都市圏でのPRイベントへの出展や新たな返礼品の開拓など、本市の魅力を全国に発信する様々な取組を行った結果によるものと分析しているところであります。

また、企業版ふるさと納税では、本市が進める地方創生事業に対し、多くの企業からご賛同をいただき、空間除菌脱臭機や消防用資機材などの物納を含め、19件、2,770万円の寄附をいただいたほか、人材派遣型の企業版ふるさと納税により、引き続き、第一生命保険株式会社より人材を派遣していただいているところであります。

今後とも、本市の魅力発信について創意工夫した取組を進め、ふるさと納税及び企業版ふるさと納税の寄附拡大に努めて参ります。

北海道バレービジョン協議会について

次に、北海道バレービジョン協議会について申し上げます。本協議会は、ラピダス社による次世代半導体製造拠点の整備を契機として、本市を含めた道央圏エリアを核に、北海道全体の産業政策・人材戦略・社会基盤の再設計を総合的に描くプラットホームとして、北海道全体の価値や可能性を見直し、将来にわたる成長基盤の再構築を目的とする「北海道バレービジョン協議会」が本年5月7日に設立されたところであります。

協議会には、本市を含め石狩管内を中心に9市町村のほか、北海道経済連合会など産業界や大学、金融機関など道内27団体が参加するとともに、協議会では産学官の知見を集結し、オール北海道として連携を図りながら、様々な提言がされることが期待されており、本市を含めた道央圏への様々な波及効果が見込まれております。

本市といたしましても、都市計画部会など各部会に参画しながら北海道や国への要望をはじめ、本市への企業誘致などを通じ、地域の発展に寄与して参りたいと考えております。

島松駅周辺再整備事業について

次に、島松駅周辺再整備事業について申し上げます。第1回定例会の議決をもちまして事業契約の締結となりました島松地区複合施設整備・管理運営事業について、本施設の事業敷地となる駐輪場の解体撤去工事が完了し、基本設計につきましても関係者との協議の下、終了したところであります。

今後は、実施設計を行い、秋ごろまでには工事に着手し、令和8年度末の完成を目指して進めて参ります。

自転車安全対策推進事業について

次に、自転車安全対策推進事業について申し上げます。

ヘルメット着用率の向上を図り、交通死亡事故のリスクを低減させるための取組として、65歳以上を対象とした「自転車用ヘルメット普及促進モニター事業」と、小学生以下を対象とした「自転車用ヘルメット購入費助成事業」を開始し、多くの市民から応募があったところであります。

自転車用ヘルメットを着用していただくことで、周囲にも着用の重要性への理解や機運醸成が図られるものと考えており、引き続き自転車安全対策を推進して参ります。

「えにわゼロちゃれ」の運用開始について

次に、「えにわゼロちゃれ」の運用開始について申し上げます。

家庭部門の脱炭素への取組普及を目的としたインセンティブシステム「えにわゼロちゃれ」について、5月1日に運用を開始いたしました。

本システムは、恵庭市公式アプリ「えにわっか」と連携し、脱炭素にご協力いただいた家庭に最大で3,000円分の商品券と交換できるRCポイントを付与することで温室効果ガス排出量の把握及び削減を図るものであります。

今後は、より多くの方に登録いただけるよう広く周知PRに取り組んで参ります。

農業振興について

次に、農業振興について申し上げます。

農作業につきましては、雪解けは早かったものの、春先の断続的な降雨や気温低下の影響により、一部品目では平年より農作業に遅れが生じているとのことがあります。

酪農につきましては、5月21日、22日、23日の3日間で市営牧場に市内外13戸の酪農家から186頭の入牧を終え、10月中旬まで放牧を行い、乳牛の増体を図って参ります。

また、基盤整備につきましては、漁川右岸地区が本年度より事業着手となることから、事業進捗に向けた調整を図って参ります。

恵庭市中小企業等
振興融資制度につ
いて

次に、恵庭市中小企業等振興融資制度について申し上げます。

本年4月より、利率の見直しや信用保証料の補給範囲の拡大を行ったところ、融資件数及び額が見込みを大きく上回るペースで推移しており、制度の見直しの効果が顕著に表れていると認識しているところであります。

今後も、引き続き中小企業等の振興に取り組んで参ります。

企業誘致について

次に、企業誘致について申し上げます。

このたび、「森永乳業株式会社」が安定的かつ長期的な乳原料の確保につなげることを目的として本市に牛乳類の製造拠点を設けることとなりました。同社が昭和36年の本市における企業誘致第1号でありますことから、同社の工場を再びこの地に建設いただけることを大変喜ばしく感じております。

また、光半導体デバイス、光学デバイス及びそれら複合半導体デバイス等の開発、製造、製造管理を行う「デクセリアルズ フォトニクスソリューションズ株式会社」が人材採用や交通インフラなどの環境面を理由に北海道内の機能を本市の事業所に集約することとなりました。

さらには、洋菓子小売業「きのとや」などで構成される北海道コンフェクトグループのグループ会社であります「北の食品株式会社」が新千歳空港方面等での需要拡大に伴い、輸送面で有利な本市に生産機能を持たせることを目的として立地することとなりました。

本市としましては、市内の雇用創出及び経済波及効果に加え、3社が有するブランド力による本市の知名度の向上に期待しているところであります。

観光入込客数の推

移について

次に、観光入込客数について申し上げます。

令和6年度の市内の観光施設や各種イベントなどの観光入込客数につきましては、前年度比約9千人増の約182万人となっております。

本年度は、次期観光振興計画の策定やルルマップ自然公園ふれらんど整備方針に基づく事業化の検討など、引き続き本市の観光振興に取り組んで参ります。

下水道GXの取組

について

次に、下水道GXの取組について申し上げます。

本年4月1日から恵庭下水終末処理場において、太陽光発電によるオンサイトPPA事業を開始いたしました。本事業の実施により、施設で使用する電力の約9パーセントを賄うことができ、温室効果ガスの排出量を年間150トン程度削減できる見込みであります。

今後も、恵庭市下水道ビジョンに基づき、下水道資源の有効利用による脱炭素・循環型社会の構築に努めて参ります。

救急支援システム

整備事業について

最後に、救急支援システム整備事業について申し上げます。

救急需要の増加に伴う対策として、傷病者の予後向上、救急業務の効率化及び救急隊員の労務負担の軽減を目的に、2か年にわたる実証実験を行い、本年3月より本システムを整備し運用を開始いたしました。

システム導入による傷病者情報の伝達や予後情報の共有など、DX化に伴う効果は大きく、本市救急医療体制の維持・向上に繋がるものであります。

引き続き、札幌医療圏における広域的な連携の拡充を推進して参ります。

以上、第1回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

なお、本議会に提案している議案等については、それぞれ上程の都度説明させていただきますので、よろしくご審議をいただき、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。